

Revolution
JAPAN NEW WAVE

続★日本の歩むべき道

FUTURE JAPAN



www.satoyasuki.jp

NEW JAPAN ★ **2050**

続★2050年に向けて…日本の歩むべき道!!

世界の潮流と日本のおかれた現状を冷静に認識し、長期的にニッポン丸の進むべき先を定めて舵を切る—それが政治、特に『国政』の本来の役割であると確信いたします。政治のあり方で、長期的な国のあり方が決まります。ニッポン丸の進むべき針路はどこなのか。私の考える目指すべき日本の未来のあり方について前号に続いてお届けします。今回は、③国の力の底上げ④世界の中の日本⑤政治は国民とともに、の3つをテーマにお届けいたします。



さとう★やすき

佐藤

SATO YASUKI

■プロフィール■

幼少時を米国で過ごし、神戸で育つ。六甲学院中・高、東大法学部・同大学院を経て米国ハーバード大ケネディー政治大学院卒業。国連でのインターン、欧米の投資銀行を経て、住友商事で世界のインフラ開発投資に従事し現在に至る。



③ 国の力の底上げ

世界と渡り合うためには国力のベースを充実させなければなりません。

しかし、この何十年も政治は足元の景気浮揚ばかりを気にしてきました。その結果、景気浮揚さえできないまま、世界に占める日本の経済力（GDP）の割合は30年で3分の1になってしまいました。

日本の長期の国力強化策として、まずは若い人口を増やす（そのことで労働人口が増える）ことが重要です。10年20年単位の時間軸で少子化の解消に徹底的に取り組むべきです。

もう一つは、持続的に日本に富が集まる仕組みをつくることです。世界から、ヒト・モノ・カネ・技術が集積する仕組みをつくる。日本に本気で日本版のシリコンバレーをつくれなものでしょうか。そのためには、特区をつくるだけでなく、世界を引付ける魅力を日本が備えなくてはなりません。

それは究極的には創造的で個性あふれる人材と技術ではないでしょうか。今日日本で何十年も据え置かれた教育や科学技術関連の予算の劇的な拡充が急務です。

Revolution

JAPAN NEW WAVE

④ 世界の中の日本

多くの課題が一国では解決できない時代。世界で影響力を保ち課題解決を主導する日本の外交力が問われます。

外交の技をより効果的に発揮するため、国力に加えてインテリジェンス（情報収集・分析力）の強化や海外との人的ネットワーク構築により「高度な外交」を展開する力を備えたいところです。

また日米同盟に過度に依存したままでは日本の外交の選択肢は極めて狭くなります。現実的な外交を本旨としながら、日米地位協定の改定を目指すべきでしょう。

長期的には、東アジアの永世中立国を目指すべきかもしれません。これは駐留米軍の撤退（完全自国防衛）を意味するので、今の状況では現実的ではありませんが、国家のあり方としては考えるべきでしょう。

⑤ 政治は国民とともに

政治のあり様は国のあり様そのものであり、政治制度は国を導く制度です。

偏らない多様な考えを尊重し、緊張感のある政治を実現するため、二大政党制を引き続き目指すべきです。そのためには、今の小選挙区制の比例部分をなくし完全な小選挙区制にした上で、1回目の投票で上位の2人で再度投票する「決選投票」の仕組み（フランスでは似た制度を導入済み）が有効です。

また庶民感覚を政治に反映させるため、首相公選制を導入すべきです。米国の大統領選挙のように国民の参加意識を高めることで、政治そして国と社会の活性化につなげたいと思います。

庶民の視点からも安心して暮らせる社会、女性やシニアにとっても生きやすく、多様な生き方が受け容れられる社会をつくるべく、取組み続けます。